

劇団チョコレートケーキ

白き山

脚本：古川 健 / 演出：日澤雄介

2024年6月6日（木）～16日（日）@駅前劇場

企画・製作 一般社団法人 劇団チョコレートケーキ

助成 文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業（公演創造活動））

独立行政法人日本芸術文化振興会

ご挨拶

いつもの文言で恐縮ですが、この物語は歴史的な事実を参考にしたフィクションです。実在の人物をモチーフにしておりますが、全ては創造の産物です。特に今回は作劇上の必要で、登場人物の設定（年齢・経歴等）にも実在の人物から変更している点がいくつもございます。その点のみお含み置きいただければ幸いです。

逆に作品上に登場する短歌等は、そのまま引用させていただいております。この場をお借りいたしまして、各作者、特に斎藤茂吉氏に深い感謝の意を表します。

「天の原ふりさけ見れば春日なる 三笠の山にいでし月かも」

これは私が百人一首で一番好きな短歌です。作者安倍仲麿（もしくは阿部仲麻呂）は奈良時代の遣唐使で、まだ二十歳前に唐に留学します。唐の皇帝に気に入られ、在唐三十五年、ようやく帰国を許された仲麻呂がふるさとを思い詠んだのが上の歌だそうです。しかし仲麻呂は嵐に阻まれ、帰国を断念し、入唐の五十三年後にそのまま唐で亡くなりました。

作者のことを知ると、より深く歌の意味が伝わってくると思いませんか？既に唐土で老境に入った詩人が、少年の頃に去った大和を思って歌を詠む。この詩情により、更に歌の価値が増す。これが短歌という文学の不思議なところかもしれません。短歌には詠み人の人生が隠れている。隠れているが、確かに存在している。これが斎藤茂吉の言う実相観入なのかもしれません。茂吉の歌に隠れている何事かが、お客様の心に何かを残してくれれば、これに勝る喜びはありません。

雨の多い時節柄、本日はご来場まことにありがとうございます。どうか最後まで、ごゆっくりお楽しみください。

劇団チョコレートケーキ／劇作家 古川 健

斎藤茂吉は、その生涯を通じて多くの困難と向き合いながらも、自らの芸術を追求し続けました。その斎藤茂吉が歌を詠めなくなる、それは何故なのか？物語はもちろんフィクションなのですが、そこには茂吉の持つ生きる事への葛藤や居なくなることへの虚しさ、「自分の生きる道」への喪失感などが影響を与えています。

誰にでも訪れる晩秋、そこに向き合う作業はとても難しいものでした。自分を振り返る行為であり、家族との関係を見つめ直す行為でもあり、そして終わりを考える行為です。そこに手を突っ込むのは、とても大きなリスクを伴います。僕も自分の今までとこれからを考えてしまい、頭がぐるぐるしてしまいました。そのリスクに果敢に挑んでくださった俳優の皆さんには感謝しかありません。ありがとう。

斎藤茂吉の生き様を通して、「自分の生きる道」について改めて考えてみました。僕個人としては「自分の生きる道」なんてものは無く、「生きてきた道」が自分になるのだから流れるままで良いと思っています。ですが、茂吉の考え方や表現者としての有り様などに触れてしまうと揺れてしまいます。この揺れの中に僕がこの作品で求めたかったものがあるような気がしております。皆さまも大いに揺れていただけたら嬉しいです。

本日はご来場、誠にありがとうございます。最後までごゆっくりお楽しみください。

斎藤茂吉役を引き受けてくださった緒方晋さん。緒方さんが居なければ、この舞台の幕は開きませんでした。この場をお借りして、劇団主宰として演出家として心より感謝と敬意を表します。

劇団チョコレートケーキ／主宰・演出 日澤雄介

キャスト

歌人・精神科医

斎藤茂吉 さいとう もきち

・ ・ ・ 緒方 晋 (The Stone Age)

精神科医・茂吉の長男

斎藤茂太 さいとう しげた

・ ・ ・ 浅井伸治 (劇団チョコレートケーキ)

精神科医・茂吉の次男

斎藤宗吉 さいとう そうきち

・ ・ ・ 西尾友樹 (劇団チョコレートケーキ)

会社員・茂吉の高弟

山口茂吉 やまぐち もきち

・ ・ ・ 岡本 篤 (劇団チョコレートケーキ)

農婦・茂吉の賄い婦

守谷みや もりや みや

・ ・ ・ 柿丸美智恵

スタッフ

脚本 / 古川 健 (劇団チョコレートケーキ)

演出助手 / 石塚貴恵

演出 / 日澤雄介 (劇団チョコレートケーキ)

舞台監督 / 本郷剛史、小川陽子

舞台美術 / 長田佳代子

タブレット字幕 / G-marc (株式会社イヤホンガイド)

美術助手 / 安岐祐香

宣伝美術 / R-design

照明 / 和田東史子 (松本デザイン室)

写真 / 池村隆司

音響 / 佐藤こうじ (Sugar Sound)

撮影 / 神之門隆広、与那覇政之、松澤延拓

音響オペレーター / 日本有香 (Sugar Sound)

大竹正悟、遠藤正典

音楽 / 佐藤こうじ (Sugar Sound)

web / ナガヤマドネルケバブ

衣装 / 藤田 友

制作協力 / 塩田友克

山形弁指導 / 伊藤 穂 (箱庭ノ虫)

制作 / 菅野佐知子 (劇団チョコレートケーキ)

大道具製作 / Carps、美術工房いろあと

小道具製作 / 佐藤区役所、服部未夢

電飾協力 / 株式会社ラセンス

企画・製作 / 一般社団法人劇団チョコレートケーキ

協力

トム・プロジェクト / krei inc. / The Stone Age / 箱庭ノ虫 / 株式会社イヤホンガイド / CAIMAN WORKS

松本デザイン室 / Sugar Sound / tran.cs / 蒔崎今日子

2024年 秋 本公演

つきかけ

脚本 古川 健 / 演出 日澤雄介

2024年11月7日（木）～17日（日） @ 駅前劇場

2024年 夏 巡演

帰還不能点

脚本 古川 健 / 演出 日澤雄介

2024年7月17日（水）16時30分 開演 @相模原南市民ホール

…他、北海道演劇鑑賞会巡演

<https://www.geki-choco.com/>

今後の予定

【日澤雄介 演出】

●日本劇団協議会

『流れる血、あたたかく』

作 三上陽永

演出 日澤雄介

2024年9月11日（水）～23日（月）

@Space早稲田

●日本の劇団

『十二人の怒れる男』

演出 日澤雄介

2024年12月11日（水）～15日（日）

@下北沢・駅前劇場

公式X→@nihonnogekidan

【古川健 脚本】

●青年劇場第133回公演

『失敗の研究ーノモンハン1939』

作 古川健

演出 鶴山仁

2024年9月13日（金）～23日（月・祝）

@紀伊國屋サザンシアターTAKASHIMAYA

【緒方晋 出演】

●路地裏の舞台によるこそ2024参加作品

野良犬vol.4

『タイトル未定』

作 西田悠哉（劇団不労社）

演出 森本洋

2024年9月13日（土）～23日（日）

@西成のマンション

【柿丸美智恵 出演】

●プテラノドン vol.3

『青春にはまだはやい（仮）』

2024年11月26日（火）～12月1日（日）

作・演出 笠浦静花（やみ・あがりシアター）

@下北沢「劇」小劇場

劇団HP→<https://www.ppteranodonn.com/>